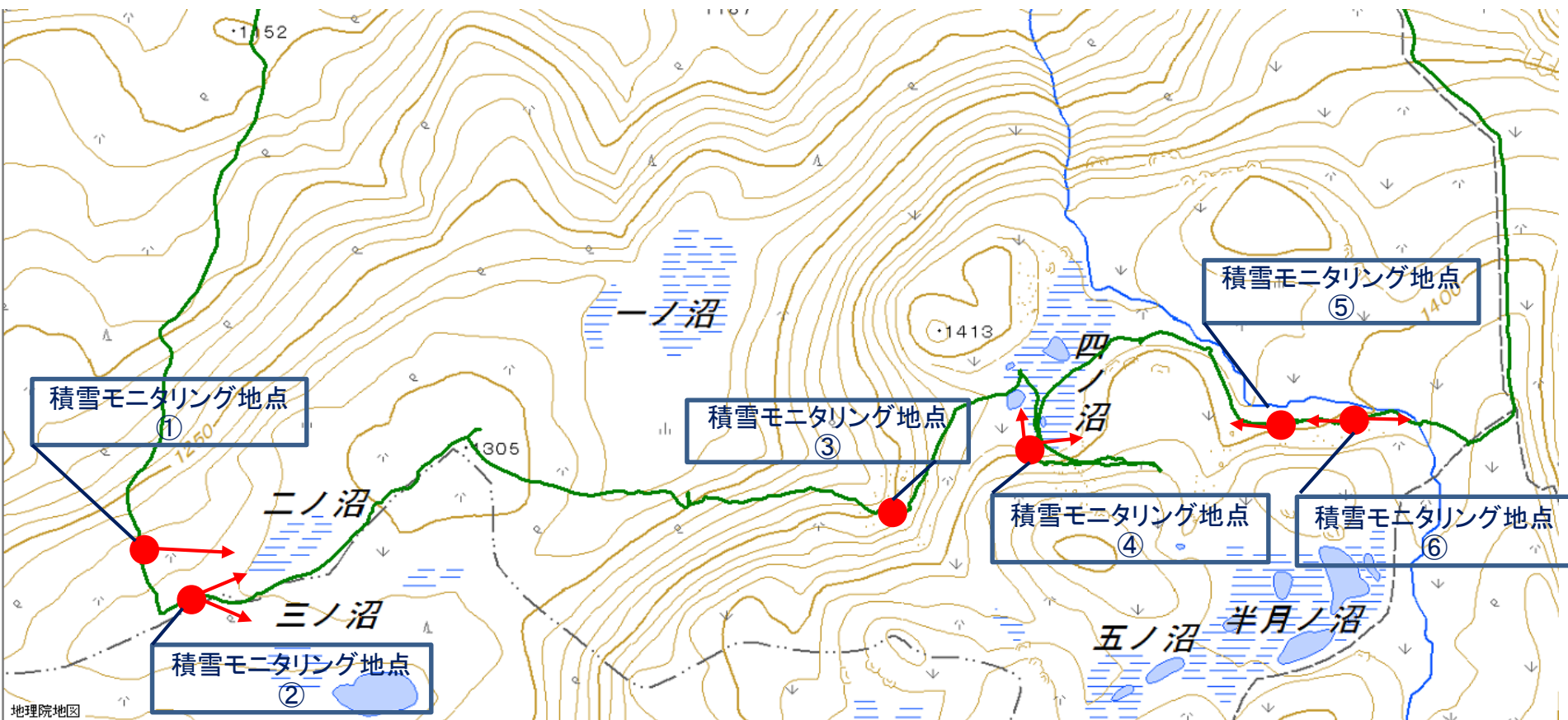


平成30年度(2018年度)積雪モニタリング実施結果
【融雪期】

※降雪期は、愛山溪温泉に至る道道が通行止めのため実施できず。

平成30年度(2018年度)松仙園積雪モニタリング位置図



大雪山国立公園松仙園地区適正利用推進計画4(2)④ 積雪モニタリング

本計画対象期間の区分(融雪期、無雪期、降雪期)と毎年の積雪との関係を確認するため、消雪の状況、積雪の状況について、写真撮影等により、積雪の変化を記録します。

松仙園積雪モニタリング調査2018年 調査地①



6月18日 積雪状況:ゼロ
地面状況:若干湿っている



6月27日 積雪状況:ゼロ
地面状況:調査日が雨のため湿っている



7月17日 積雪状況:ゼロ
地面状況:乾燥

【緯度経度】

N43° 42'00.90" E142° 47'44.97"

【目印の高さ】地面より140cm(○印)

【調査のポイント】調査は、歩道を含む湿原全体の積雪の有無の確認と地面の状況確認。状況写真は、目印と、地面の様子が写るように撮影する。

【選定理由】二の沼が全体的に見渡せる地点であるため。

松仙園積雪量調査2018年 調査地②



6月18日 積雪状況:ゼロ
地面状況:ぬかるみ、水たまり



6月27日 積雪状況:ゼロ
地面状況:ぬかるみ、水たまり有り。



7月17日 積雪状況:ゼロ
地面状況:乾燥

【緯度経度】

N43° 41'58.35" E142° 47'48.48"

【目印の高さ】地面より205cm(○印)

【調査のポイント】調査は、歩道を含む湿原全体の積雪の有無の確認、地面の状況確認。

状況写真は調査ポイントから登山道までがつながるように連続して撮影する。

【選定理由】三の沼が全体に見渡せる地点であるため。

松仙園積雪量調査2018年 調査地③



6月18日 積雪:残雪多く、雪渓上をトラバースする状況
推定積雪量200cm、推定雪渓距離100m



6月27日 積雪状況:残雪は前回より少なくなってきてはいるが、
まだ雪渓の上をトラバースする状況
推定積雪量200cm以下、推定雪渓距離100m



7月17日 積雪:推定積雪量50cm、推定雪渓距離50m

【緯度経度】

N43° 42'02.87" E142° 48'39.91"

【目印の高さ】歩道地面より結び目まで150cm

【調査のポイント】調査は、歩道上の積雪の有無の確認、積雪の範囲。

【選定理由】3の沼から4の沼の間で残雪が遅くまで残る場所であるため。

松仙園積雪量調査2018年 調査地④



6月18日 積雪状況:積雪量は200cm。
湿原の雪どけは昨年より早く、湿原の植物が緑色
赤丸印の場所は昨年よりも残雪量が多い



6月27日 積雪状況:まだ残雪多い。山側は昨年より多い印象。
積雪量は不明。推定では200cm以下。



7月17日 積雪状況:30cm

【緯度経度】

N43° 42'06.03" E142° 48'49.56"

【目印の高さ】雪や藪化でタイミング計れず

【調査のポイント】調査は、歩道上の積雪の有無の確認。積雪量を量る場所はピンクテープ付近ならば測りやすいところがいい。
状況写真は進行方向と4の沼方向がつながるように連続して撮影する。

【選定理由】4の沼全体が見渡せて、歩道状況が確認できる場所であるため。

松仙園積雪量調査2018年 調査地⑤



6月18日 積雪状況:積雪があり登山道は見えていない。
推定積雪量:200cm。



6月27日 積雪状況:積雪があり登山道は見えていない。
推定積雪量:200cm



7月17日 積雪状況:積雪があり登山道は見えていない。
積雪量は50cm。

【緯度経度】

N43° 42'07.52" E142° 49'07.82"

【目印の高さ】地面から80cm

【調査のポイント】調査は、歩道上を含む、雪田植生全体の積雪の有無の確認。積雪量を量る場所はピンクテープ付近ならば測りやすいところがいい。

状況写真は4の沼方向と歩道が写るように撮影する。

【選定理由】4の沼方面の登山道全体が見渡せる場所であるため。

松仙園積雪量調査2018年 調査地⑥



6月18日 積雪状況:積雪。一部登山道露出。積雪量は200cm。
地面状況:見えている登山道はぬかるみ水たまりもある。



6月27日 積雪状況:一部登山道露出。推定積雪量は150cm。
地面状況:見えている登山道はぬかるみ水たまりもある。



7月17日 積雪状況:残雪は登山道上の一部に残っている。
地面状況:ぬかるみ、水たまりもある。

【緯度経度】

N43° 42'07.75" E142° 49'13.39"

【目印の高さ】地面から50cm

【調査のポイント】調査は、歩道を含む節電植生全体の積雪の有無。積雪量を量る場所は岩付近ならば測りやすいところがいい。調査のピンクテープは岩の横の低い位置にある。状況写真は、歩道を中心進行方向と四の沼方向の前後を撮影する。

【選定場所】4の沼方面と進行方向の歩道全体が見渡せる場所であるため。